【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公開番号】特開2008-137834(P2008-137834A)
【公開日】平成20年6月19日(2008.6.19)
【年通号数】公開・登録公報2008-024
【出願番号】特願2006-324772(P2006-324772)
【国際特許分類】
Ｃ０４Ｂ　35/49　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/083　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/187　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/24　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０４Ｂ　35/49　Ｓ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｓ
Ｈ０１Ｌ　41/18　１０１Ｆ
Ｈ０１Ｌ　41/22　Ａ
Ｈ０１Ｌ　41/22　Ｚ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｑ

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月10日(2009.6.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
一方、第３副成分、例えばWは６価であり、４価のサイトに対して価数が大きい、一般にドナーと呼ばれる元素である。
Wのように価数が大きい元素は他の元素から受ける拘束力が大きいため、焼成時の動き（拡散）が遅く、焼結性を低下させるおそれがある。しかしながら、このような他の元素から受ける拘束力が大きい元素は圧電効果をソフト化して、圧電本来の特性を改善するものと解される。他の第３副成分も、５価あるいは６価をとるため、同様の効果を奏する。